地方創生拠点整備交付金事業評価シート

施策·事業内容 頁番							重要業績評価指標(KPI)						***
事業の名称	事業の概要	事業実績額(千円)	施設整備の内容	担当課	評価	指標	基準値	H29年度末 実績値	H30年度末 目標値	H30年度末 実績値	5年後の 目標値	評価	備考
城	と て、地域住民の小さな交流拠点として整備する。 また、本地域を県が進めている移住対策地域に追加されることから、 本施設を相談者の窓口施設としても活用していく。 【実施予定事業】 介護予防サロン「ふれあい喫茶」、地域食材料理研究・料理教室、 小学生通学合宿等		ふれあい喫茶の喫茶室(大会議室)をはじめ、一部空調設備がない部屋があるため、全館の空調設備を改修する。 【階段、ロビー等の改修】 2階の各部屋をサークル活動や喫茶室としても活用しているが、階段が急勾配のため、高齢者も安心して昇り降りできるよう改修し、また廊下へのスロープ設置、転倒時のけが防止のための床の張替等を行う。	教育学習課	В	①介護予防サロン「ふれあい喫茶」収入額	141千円	630千円	360千円	941千円	420千円		
な						③介護予防サロン「ふれあ							
にと公話を企画 齢者が め、トイ て、地域活性化 拠点整備事業 本施設 【実施・介護・小学生												Α	
られ N 行 め、 が	られている。千里の浜では5月中旬から8月上旬の産卵シーズン中、NPO団体と地元の有志が連携して、ボランティアで保護・調査活動を行っている。また、本州でウミガメの産卵観察ができる場所が希少なため、シーズン中に1千人を越える観察者(教育旅行の利用者など)が訪れている。 ボランティア調査員たちは、千里の浜に隣接する施設に常駐して活動を行っているが、老朽化が著しく危険なため使用できない部屋があることから、調査活動に支障をきたしている。また、週末には観察者が100人を越えるときもあり、待機場所にも困る状況である。	80,403	去し、調査・待機(仮眠)・学習機能をもった情報発信基地を改築する。 【情報発信基地改築】 ・調査基地の整備 現場調査員を統括し、現場からの情報を集約する本部を整備する。 ・待機(仮眠)施設の整備 産卵シーズン中、ウミガメ調査員や観察者が滞在する ため、仮服設備と調理設備を備える。		В	①環境保護協力金収入 (@500円×人数) ②施設利用者数 (ウミガメ 産卵観察者数) ③教育旅行の受け入れ人 数	0千円 1,254人 3,022人	0千円 1,242人 3,030人	690千円 1,380人 3,172人	18千円 1,409人 3,082人	770千円 1,540人 3,362人		
ウミガメ保護活動拠点整備事業 まっの												Α	
	(c を 歯 め て) オ (c を も を め て) オ (c を も を も を め て) オ (c を も を も を も を も を も を を も を を も な) オ (c を も を も を も を も を も を も を を も を も を も	事業の名称	事業の概要 施設のある高城地区はみなべ町の山間部に位置し、かつてはこの高城公民館を中心に住民が集い、運動会や盆踊りなど地域の行事が盛んな地域であったが、人口の減少などにより地域交流の機会が少なくなっている。そのような中、地域の女性グループが、住民等交流の復活のきっかけにと公民館を活用しボランティアによる介護予防サロン「ふれあい喫茶」として高齢者が利用するには、トイレ・空調等が利用していい、となっているため、トイレ、調理室の厨房設備、空調設備、階段やローカなどを改修して、地域住民の小さな交流拠点として整備する。また、本地域を県が進めている移住対策地域に追加されることから、本施設を相談者の窓口施設としても活用していく。 「実施予定事業」 介護予防サロン「ふれあい喫茶」、地域食材料理研究・料理教室、小学生通学合宿等 みなべ町千里の浜は、日本でも有数のアカウミガメの産卵地として知られている。千里の浜では5月中旬から8月上旬の産卵シーズン中、NPO団体と地元の有志が連携して、ボランティア保護・調査活動を行っている。また、本州でウミガメの産卵観察ができる場所が希少なため、シーズン中に1千人を越える観察者(教育旅行の利用者など)が訪れている。ボランティア調査員たちは、千里の浜に隣接する施設に常駐して活動を行っているが、老朽化が著し、危険なため使用できない部屋があることから、調査活動に支障をきたしている。また、連末には観察者が100人を越えるときもあり、待機場所にも困る状況である。そごで老朽化た現施設(調査基地・宿泊施設)を撤去し、調査員が帯在するための施設と、観察者が待機している間にパネルなどでうまがについて学習できる施設とが一体となった複合施設(情報発信基地)を整備することにより、より一層の観察者を受け入れ、また、地元有志の方々も、より一層の保護・調査活動に取り込みを行い、人材の育成を図る。	事業の名称 事業の概要 施設のある高域地区はおなべ町の山間部に位置し、かってはこの高域公民館を中心に住民が集い、運動会や経験のなど地域の行事が強んな地域であったが、人口の減少などにより地域交流の機会が少なくなっている。そのような中、地域の女性グループが、住民等交流の復活のきっかけにと公民確認用ルボラライグによる介護す所がロンドがは地域で満の後ろっかけにと公民確認活用ルボラライグによる介護す所がロンドがは地域で満の後ろっかけにと公民確認活用ルボラライグによる介護す所がロンドがは地域で満の後ろっかけにと公民確活用ルボラライグによる介護す所がロンドがは地域で満の後ろっかけにと公民確活用ルボラライグによる介護す所がロンドがは映案として高齢者が利用するには、トイレ・空調等が利用してい状況となっているため、トイレ、調理薬の厨房設備・空調設備、階段やローカなどを改修しる地域活性化(手段を選集)の床の張音等改修を行う。「トイルの改修」現底・基準学・本施談を相談者の窓口施設としても活用していべ。 「実施予定事業」介護予防サロンドぶれめに喫菜」、地域食材料理研究・料理教室、小学生通学合宿等 かない町千里の浜は、日本でも有数のアかつぎガンの産卵地として知られている。千里の浜では5月中旬から8月上旬の産卵シーズン中、NPO団体と地元の有志が連携して、ボラライクで保護・調査活動を行うている。また、本州でウガメの産卵世として知られている。非単の浜は、日本でも有数のアかつぎガンの産卵地として知られている。本の浜では5月中旬から8月上旬の産卵シーズン中、NPO団体と地元の有志が連携して、ボラシイクで保護・調査活動を行うている。また、本州でウガメの産卵世として知られている。また、本州でウガメの産卵世として知られている。また、本州でウガメの産卵世として知られている。また、本州でウガメの産卵世として知られている。また、地内でも大きないの成態は、表別が流気を整備する。ででき者化している。また、週末には観察者が100人を越えるときもめり、待機条に基地改変者が100人を超えるときものが発送と、観察者が持てするとかの施設と、観察者が持機の主ない、調査と確認な変し、調査基地の整備 現場調査員を統括し、現場から情報を集約する本でできる施設を整備する。・シャク・室の整備 切まが調査中卵の保護活動など、長期間滞在するため、シャク・至から利益で見ず強度を整備する。・シャク・室の整備 の言が表望を整備する。・シャク・室の整備 の言が実質で呼吸保護活動など、長期間滞在するため、シャク・室を整備する。・シャク・室の整備 の言が実質で呼吸保護活動など、長期間滞在するため、シャク・室がシア・ブランド・フィースへと整備する。・シャク・室がシア・ブランド・フィースへと整備する。・シャク・室がシア・ブランド・フィースへと整備する。・シャク・マランド・フィースへこを整備する。・シャク・マランド・フィースへこを整備する。・シャク・マランド・フィースへと整備する。・シャク・マランド・フィースへこを整備する。・シャク・マランド・フィースへこを整備する。・シャク・マランド・フィースへこを整備する。・シャク・マランド・フィースへこを整備する。・シャク・マランド・フィースへに対しまれていませばなど、大きないまれていまれていまれていまれていまれていまれていまれていまれていまれていまれて	事業の名称	事業の名称	事業実施 施設をある高速地区はみなく頃の山間部に位置し、ケフではこの高 社会に避免中心に住民が集い、運動会や監督の定と地域の行事が盛	#薬の名称	東京の他族 東京の他族 東京の他 施設のある高域和区はななべ町の山間間に位置し、かってはこの高域では、2000年の大きいでは、1200年の大きいでは、1200年の大きいでは、1200年の大きいでは、1200年の大きいでは、1200年の大きいでは、1200年の大きいでは、1200年の大きいでは、1200年の大きいでは、1200年の大きいでは、1200年の大きいでは、1200年の大きいでは、1200年の大きいでは、1200年の大きいでは、1200年の大きいでは、1200年の大きには、1200年の大きによったが、1200年の大きいでは、1200年の大きによったが、1200年の大きいでは、1200年の大きいでは、1200年の大きによったが、1200年の大きいでは、1200年の大きによったが、1200年の大きいでは、1	事業の名称	事業の名称	国際の各権	

施策・事業内容の評価欄について

- A:地方創生に非常に効果的であった(全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合)
- B:地方創生に相当程度効果があった(一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合)
- C:地方創生に効果があった(KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進し・改善したとみなせる場合)
- D:地方創生に対して効果がなかった(KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合)

外部検討委員会の評価欄について

- A:総合戦略のKPIの達成に有効であった
- B:総合戦略のKPIの達成に有効とは言えない